

## 資料 事業（主催）報告書

2021年8月25日

事業名称	2020年度 第20回修習技術者発表研究 年次大会（オンライン） 共催：日本技術士会 統括本部・中国本部他 修習技術者支援委員会		
開催日時	2020年11月14日（土）13:00～16:45		
開催場所	中国本部会議室からのZoomによるオンライン講演		
参加人数	42名	CPD	3時間00分

事業内容	<p>1. 経緯</p> <p>日本技術士会 統括本部 修習技術者支援委員会では、修習技術者のプレゼン・コミュニケーションの機会創出、及び技術者に必要な資質能力の向上を目的として発表研究会が行われている。年1回開催されていた年次大会において、本年度は統括本部からの呼びかけにより地域本部との共催で行った。中国本部からも代表1名が発表した。</p> <p>2. プログラム及び概要</p> <p>(1) 13:00～ 開会挨拶                  (2) 13:10～ 評価基準及び注意事項                  (3) 13:20～ 年次大会発表（この1年で優れた発表者による発表）                  (4) 16:20～ 表彰（参加者の投票で最優秀者を決定）                  (5) 16:35～ 講評、閉会挨拶</p> <p>【発表1】 岡島正和（電気電子、統括本部）                  題目：我が家の建て替え時の省エネ対策</p> <p>【発表2】 築城英生（建設、近畿本部）                  題目：建物内部の無柱空間を構成する大スパン鉄骨梁の施工</p> <p>【発表3】 陸浦昂起（建設、中部本部）                  題目：生物多様性の保全と水循環機能の回復を目的とした自然公園のゾーニング計画策定</p> <p>【発表4】 海原一仁（衛生工学、中国本部）                  題目：汚泥再生資材製造方法の改善</p> <p>3. 振り返り</p> <p>各地域本部から選抜された修習技術者4名が一堂に会した大会であった。技術士を目指される発表者にとって、良い経験を積んで頂いたと考える。今回、各地域本部と統括本部がWEBで連携し、共催という初の試みであったが、リハーサルなど事前の準備が功を奏し成功裡に終わることができた。今後、更なる地域連携が考えられ、修習技術者に活用頂く場が広がることが期待される。</p>		
------	---	--	--

 <p>海原一仁氏の発表</p>	 <p>発表1「我が家の建て替え時の省エネ対策」                  岡島正和氏（統括本部代表、電気電子）</p> <p>発表2「建物内部の無柱空間を構成する大スパン鉄骨梁の施工」                  築城英生氏（近畿本部代表、建設）</p> <p>発表3「生物多様性の保全と水循環機能の回復を目的とした自然公園のゾーニング計画策定」                  陸浦昂起氏（中部本部代表、建設）</p> <p>発表4「汚泥再生資材製造方法の改善」                  海原一仁氏（中国本部代表、衛生工学）</p> <p>※表彰状とトロフィーをお送りします！                  月刊 技術士PEに掲載予定です！！</p>
---	--

報告者	所属氏名：三菱重工機械システム株式会社 森本聡 住所：広島県三原市糸崎南 1-1-1 TEL：080-8986-1615 FAX：0848-64-0501 e-mail：satoshi.morimoto.pe@mhi.com		
-----	--	--	--